

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3単位	学年	1学年
使用教科書		大修館書店『PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION 1 Revised』					
副教材等		大修館書店『PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION 1 Revised』 予習・復習ノート 大修館書店『PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION 1 Revised』 ワークブック 桐原書店『HyperListening 4th Edition Introductory』 数研出版『必携英単語 LEAP Basic』、活用ノート					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①多様な考えを尊重し、協働的な取組をととして最適解を求める資質・能力を育成します。 ②礼節を重んじ、感謝の気持ちを持って社会に貢献しようとする資質・能力を育成します。 ③知的好奇心と創造力に富み、生涯にわたり主体的に学び続ける資質・能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①全日制普通科の高等学校として、生徒一人ひとりの多様な進路に対応するために、知・徳・体のバランスのとれた総合的な力をつける教育活動を展開します。 ②協働的な学びを進めるために、ICT を効果的に活用したグループ学習や課題探究活動、プレゼンテーション活動などを、「総合的な探究の時間」を始めとした各教科の学習に取り入れます。 ③地元の行政機関や大学、企業等と連携して、地域を知り、地域に貢献し、さらに全国的、世界的な視野をもてるような活動を教科等横断的に行います。 ④生徒の主体的な活動を支援し、多様な人や考え方と接する機会をつくるために、生徒会活動や学校行事を充実させます。

2 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方、考え方を働かせ、言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 指導の重点

・高校1年で学習する基本的な文法、単語を身につけ、それを用いて自分の興味・関心のある話題について伝えることができることを目指します。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、意味の区切り、単語の正しい発音に注意しながら、読んだり聞いたりすることができることを目指します。 ・内容の要点を占める語句や、つながりを示す語句などに注意しながら、読んだり書いたりすることができることを目指します。 ・英語を通じて、日常的な話題について情報の概要を理解したり、考えを伝えたりすることができることを目指します。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深めるとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ワークシートや提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ワークシートや提出物などの内容の確認 ・パフォーマンステスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の取組の観察 ・ワークシートや提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの確認 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

学期	月	単元・教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1	4	Lesson1 Words to Live by	・現在・過去・未来を表す表現を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・人物やその人の考えについての説明文を読んで概要や要点を確認する。 ・人物に関する身近な話題についてやりとりする。	9	定期考査 ワークシート 振り返りシート
	5	Lesson2 My Experience Abroad	・助動詞・受動態・動名詞を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・高校生の英語体験談を読んで概要や要点を理解する。 ・英語を使った体験や、英語を使ってしてみたいことについて書く。	11	定期考査 ワークシート 振り返りシート
	6	Lesson3 Our Feline Friends	・不定詞・SV0(that 節)・接続詞を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・ネコと人間の関係や生態についての説明文を読んで概要や要点を理解する。	11	定期考査 ワークシート 振り返りシート

			・ペットビジネスについての資料を読み、内容を整理しながらメモする。		
	7	Lesson4 Work in the Future	・現在完了・現在完了進行形・SVC を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・職業の変化についての説明文を読んで概要や要点を理解する。 ・興味のある職業や将来の職業について短い意見文を書く。	9	定期考査 ワークシート 振り返りシート
		パフォーマンステスト	1 学期で扱った話題の中から 1 つ選び、やりとりする。	2	パフォーマンステスト
2	8 ・ 9	Lesson5 My Favorite Food : Rice	・比較・SV0+to 不定詞・SVOC・SV 形容詞+that 節を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・米についてのプレゼンテーション原稿を読んで概要や要点を理解する。 ・おすすめの食べ物を紹介する。	10	定期考査 ワークシート 振り返りシート
	10	Lesson 6 A Long Way Home	・It is～for+to・前置詞句・現在分詞／過去分詞を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・物語や登場人物の心情について理解する。 ・見た映画や読んだ本についての概要を書く。	12	定期考査 ワークシート 振り返りシート
	11	Lesson 7 Can You Read Faces?	・関係代名詞・疑問詞+to 不定詞・間接疑問を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・顔の表情や対面コミュニケーションに関する説明文を読んで概要や要点を理解する。 ・短い講義を聞いて要点をメモする。	10	定期考査 ワークシート 振り返りシート
	12	Lesson 8 Make People Shine : Choreo- director, MIKIKO	・仮定法過去・SV0+動詞原形・seem/appear to を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・スペシャリストとその仕事についての説明文を読んで概要や要点を理解する。 ・人物のプロフィールを読み、内容を整理する。	8	定期考査 ワークシート 振り返りシート
		パフォーマンステスト	2 学期で扱った話題の中からテーマを 1 つ選び、発表する。	2	パフォーマンステスト
3	1	Lesson 9 Our Desire to Fly	・関係代名詞 what・関係副詞・助動詞を含む受動態を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・人類の飛行の歴史に関する説明文を読んで概要や要点を理解する。 ・ツアーガイドの説明を聞いて、内容をメモする。	9	定期考査 ワークシート 振り返りシート
	2 ・ 3	Lesson10 Loving the Earth	・過去完了形・過去完了進行形・SVC(現在分詞)を用いた文の意味や働き、構造を理解する。 ・環境保護についての主張文を読んで概要や要点を理解する。 ・ミニディベートで理由・具体例とともに主張を発表する。	12	定期考査 パフォーマンステスト ワークシート 振り返りシート

7 課題・提出物等

- ・必携英単語 LEAP Basic について、範囲を指定した単語テストを週 1 回程度実施します。
- ・ワークブック、ノート等を定期的に提出し、成績評価の一部とします。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。課題テストを実施し、成績評価の一部とします。

8 担当者からの一言

学習習慣を身につけ、高校での学びに早く慣れましょう。英語の学習は積み重ねが大切です。声に出して読むなど、繰り返し復習しましょう。授業では、積極的に英語を使うよう心がけましょう。

(担当：和田 正太)